

結果の概要

1 人口

- 人口はゆるやかに増加し、108万2159人（平成27年10月1日現在）
- 増加率は3.5%、前回調査を引き続き上回る
- 人口集中地区の人口は100万1882人、総人口の92.6%を占める

平成27年10月1日現在の仙台市の人口は、108万2159人で、5年前の前回調査に比べ3万6173人増加し、大正9年の第1回国勢調査以来増加を続けています。

5年ごとの増加率の推移をみると、昭和30年から増加率が前回を上回り続け、昭和50年には18.4%と最も高くなりました。その後、増加率は前回を下回り続けていましたが、平成22年調査では昭和55年以降初めて前回増加率を上回り、平成27年調査でも前回を1.5ポイント上回る3.5%の増加率となりました。（図1、表1）

図1 人口及び人口増加率の推移（組替）—大正14年～平成27年

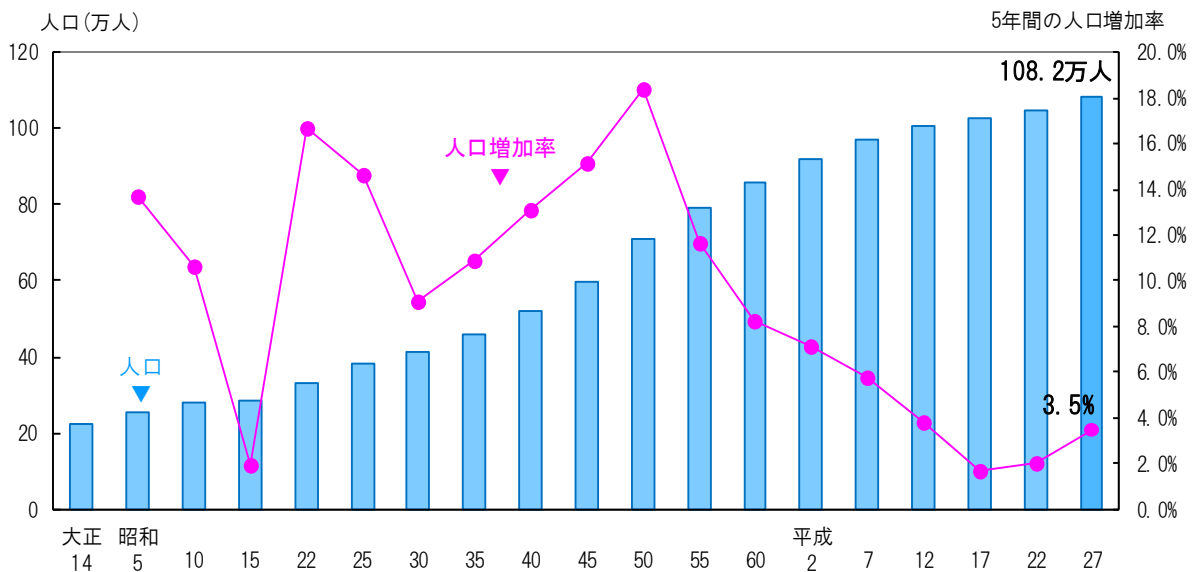


表1 男女別人口の推移—昭和40年～平成27年

年次	人口(人)			5年間の人口増減		性比 (女=100)
	総数	男	女	増減数 (人)	増減率 (%)	
昭和40年	520,059	256,965	263,094	60,183	13.1	97.7
45	598,950	296,898	302,052	78,891	15.2	98.3
50	709,326	351,623	357,703	110,376	18.4	98.3
55	792,036	393,642	398,394	82,710	11.7	98.8
60	857,335	425,984	431,351	65,299	8.2	98.8
平成2年	918,398	454,954	463,444	61,063	7.1	98.2
7	971,297	480,684	490,613	52,899	5.8	98.0
12	1,008,130	496,270	511,860	36,833	3.8	97.0
17	1,025,098	500,597	524,501	16,968	1.7	95.4
22	1,045,986	507,833	538,153	20,888	2.0	94.4
27	1,082,159	527,170	554,989	36,173	3.5	95.0

実質的な都市地域を表す「人口集中地区」における仙台市の人口は100万1882人、総人口に占める割合は、前回より3.5ポイント増加し、92.6%となっています。(表2)

表2 人口集中地区人口、面積及び人口密度の推移－昭和50年～平成27年

年次	人口			面積			人口密度	
	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域
	人	人	%	km ²	km ²	%	人/km ²	人/km ²
昭和50年	581,158	709,326	81.9	76.7	788.09	9.7	7,577.0	900.1
55	648,992	792,036	81.9	86.5	788.03	11.0	7,502.8	1,005.1
60	723,200	857,335	84.4	102.9	788.03	13.1	7,028.2	1,087.9
平成2年	774,143	918,398	84.3	113.3	783.57	14.5	6,832.7	1,172.1
7	844,783	971,297	87.0	123.8	783.50	15.8	6,823.2	1,239.7
12	892,252	1,008,130	88.5	129.69	783.54	16.6	6,879.9	1,286.6
17	905,139	1,025,098	88.3	130.20	783.54	16.6	6,951.9	1,308.3
22	931,677	1,045,986	89.1	134.76	783.54	17.2	6,913.6	1,334.9
27	1,001,882	1,082,159	92.6	149.10	786.30	19.0	6,719.5	1,376.3

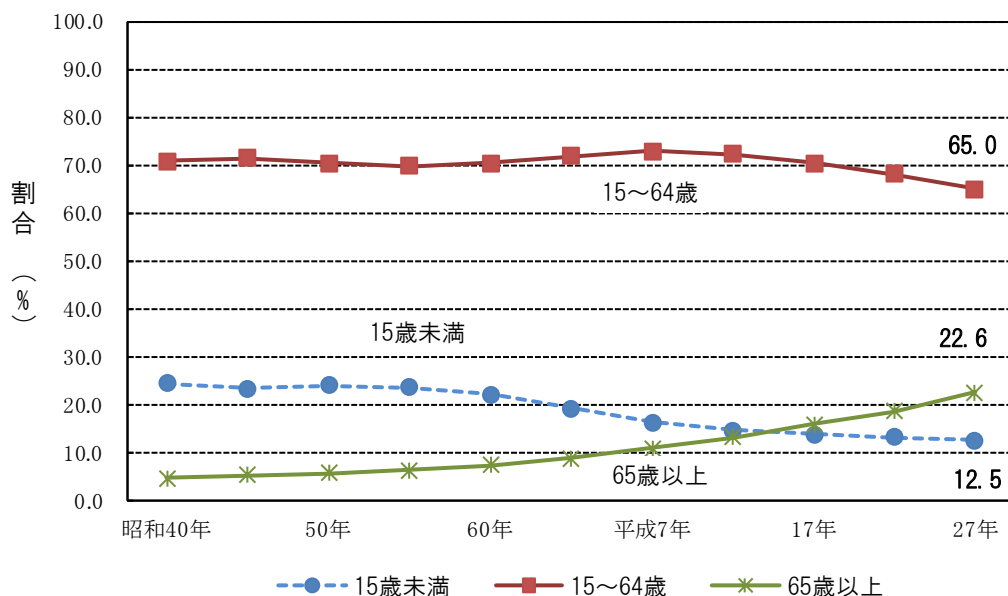
2 年齢別人口

- 65歳以上人口は23万4360人、高齢化率は22.6%となり「超高齢社会」へ
- 5歳階級別では、増加数が最も多いのは65～69歳、減少数が最も多いのは35～39歳
- 人口ピラミッドは張り出しが少なくなり、「つぼ型」に近い形

仙台市の総人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口は12万9309人(総人口に占める割合12.5%)、15～64歳の生産年齢人口は67万4873人(同65.0%)、65歳以上の老年人口は23万4360人(同22.6%)となっています。

総人口に占める割合を平成22年と比べると、年少人口は0.8ポイントの低下、生産年齢人口は3.2ポイントの低下となった一方、老年人口は4ポイント上昇しました。(図2、表3)

図2 年齢(3区分)別人口割合の推移－昭和40年～平成27年



年齢を5歳階級別に前回と比較すると、39歳以下は全ての階級で減少しており、「35～39歳」が1万2235人減少で減少数が一番多くなり、次いで「30～34歳」が1万1111人減少となっています。一方、65歳以上では全ての階級で前回調査より増加しています。

平成27年の「25～29歳」人口と5年前の「20～24歳」人口との比較では、7973人減少している一方、「20～24歳」人口と5年前の「15～19歳」人口との比較では、9556人増加しています。進学や就職等での転入や就職での転出が要因の一つと考えられます。(表3)

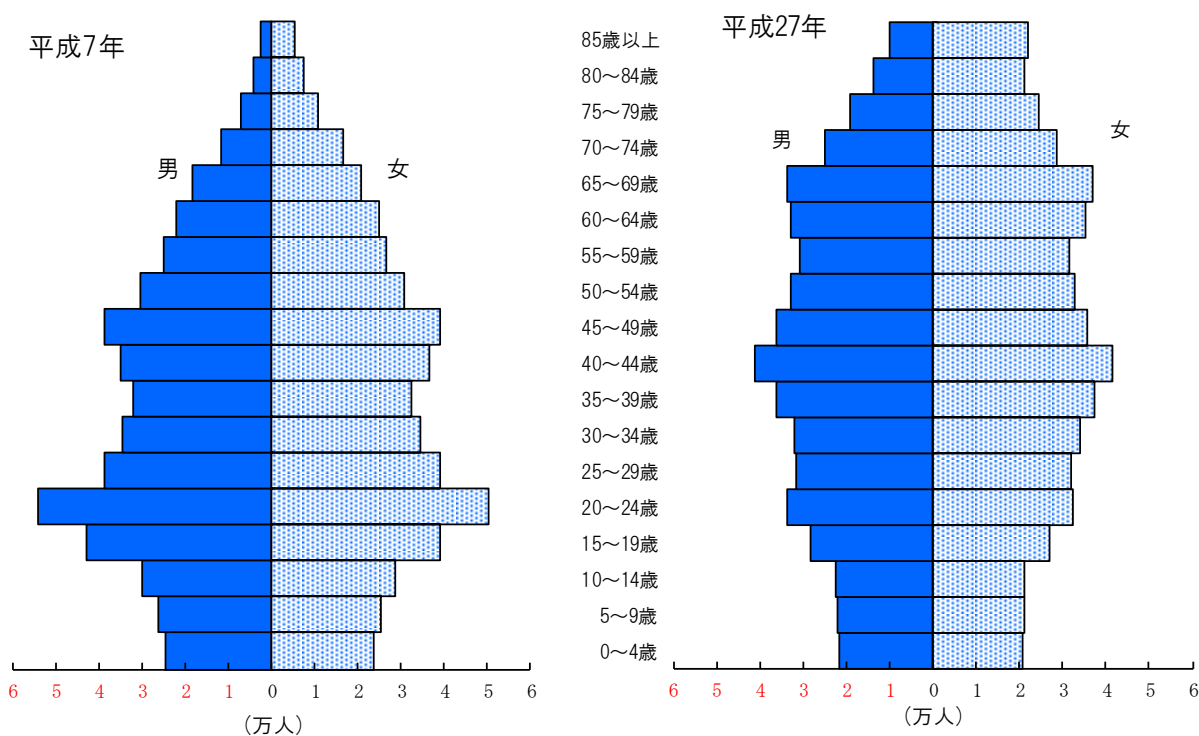
表3 年齢(5歳階級)別人口の推移—平成2年～平成27年

年齢階級	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	平成22年～27年	
							増減数	増減率(%)
総数	918,398	971,297	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	36,173	3.5
0～4歳	52,346	48,412	48,383	46,056	44,566	42,369	△ 2,197	△ 4.9
5～9	58,802	51,576	47,250	47,126	45,240	43,016	△ 2,224	△ 4.9
10～14	63,991	58,426	51,192	46,869	47,026	43,924	△ 3,102	△ 6.6
15～19	85,104	81,858	73,140	63,082	56,571	55,128	△ 1,443	△ 2.6
20～24	86,810	104,447	96,130	82,440	71,620	66,127	△ 5,493	△ 7.7
25～29	67,326	77,541	91,860	80,174	71,147	63,647	△ 7,500	△ 10.5
30～34	64,825	69,074	76,745	87,471	77,370	66,259	△ 11,111	△ 14.4
35～39	70,998	64,540	67,886	74,677	85,610	73,375	△ 12,235	△ 14.3
40～44	77,840	71,452	64,875	66,666	73,918	82,644	8,726	11.8
45～49	61,914	77,789	71,049	63,354	65,955	71,928	5,973	9.1
50～54	52,516	61,317	75,937	69,145	62,124	65,551	3,427	5.5
55～59	48,155	51,820	59,663	73,581	67,445	62,245	△ 5,200	△ 7.7
60～64	41,048	47,008	50,498	57,724	71,619	67,969	△ 3,650	△ 5.1
65～69	30,093	39,268	45,287	48,626	55,699	70,537	14,838	26.6
70～74	20,935	28,096	36,559	42,647	45,962	53,523	7,561	16.5
75～79	15,378	18,109	25,203	33,252	38,671	43,638	4,967	12.8
80～84	9,053	11,642	14,575	21,060	27,905	34,912	7,007	25.1
85～89	3,783	5,643	7,908	10,503	15,609	20,611	5,002	32.0
90～94	1,010	1,644	2,895	4,457	5,974	8,694	2,720	45.5
95～99	169	284	542	1,115	1,647	2,114	467	28.4
100歳以上	12	25	51	135	255	331	76	29.8
年齢不詳	6,290	1,326	502	4,938	14,053	43,617	-	-
(再掲)								
15歳未満	175,139	158,414	146,825	140,051	136,832	129,309	△ 7,523	△ 5.5
15～64歳	656,536	706,846	727,783	718,314	703,379	674,873	△ 28,506	△ 4.1
65歳以上	80,433	104,711	133,020	161,795	191,722	234,360	42,638	22.2
65～74歳	51,028	67,364	81,846	91,237	101,661	124,060	22,399	22.0
75歳以上	29,405	37,347	51,174	70,522	90,061	110,300	20,239	22.5
年齢別割合(%)								
15歳未満	19.2	16.3	14.6	13.7	13.3	12.5	-	-
15～64歳	72.0	72.9	72.2	70.4	68.2	65.0	-	-
65歳以上	8.8	10.8	13.2	15.9	18.6	22.6	-	-
65～74歳	5.6	6.9	8.1	8.9	9.9	11.9	-	-
75歳以上	3.2	3.9	5.1	6.9	8.7	10.6	-	-

*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

平成 27 年の人口ピラミッドを 20 年前（平成 7 年）のそれと比較すると、全体的には張り出しが少なくなり、また、ピラミッドの頂点がより平たくなっています。年齢層の間で人口の差が小さく、14 歳以下人口も少なくなり、「つぼ型」に近い形を示しています。（図 3）

図 3 人口ピラミッド



3 配偶関係別人口

- 未婚の割合は男性が高く、死別・離別の割合は女性が高い
- 「有配偶」が「未婚」を上回るのは、男女とも 30～34 歳以上の年齢階級
- 未婚率は、男女とも 20～49 歳の全ての年齢階級で前回は上回る

平成 27 年の 15 歳以上人口 90 万 9233 人（男性 43 万 6983 人、女性 47 万 2250 人）を配偶関係別にみると、男性は「未婚」が 14 万 4538 人（15 歳以上男性の 34.1%）、「有配偶」が 25 万 1696 人（同 59.4%）、「死別」が 1 万 1537 人（同 2.7%）、「離別」が 1 万 6139 人（同 3.8%）となっています。一方、女性は「未婚」が 13 万 195 人（15 歳以上女性の 28.2%）、「有配偶」が 24 万 9452 人（同 54%）、「死別」が 5 万 3730 人（同 11.6%）、「離別」が 2 万 8670 人（同 6.2%）となっています。

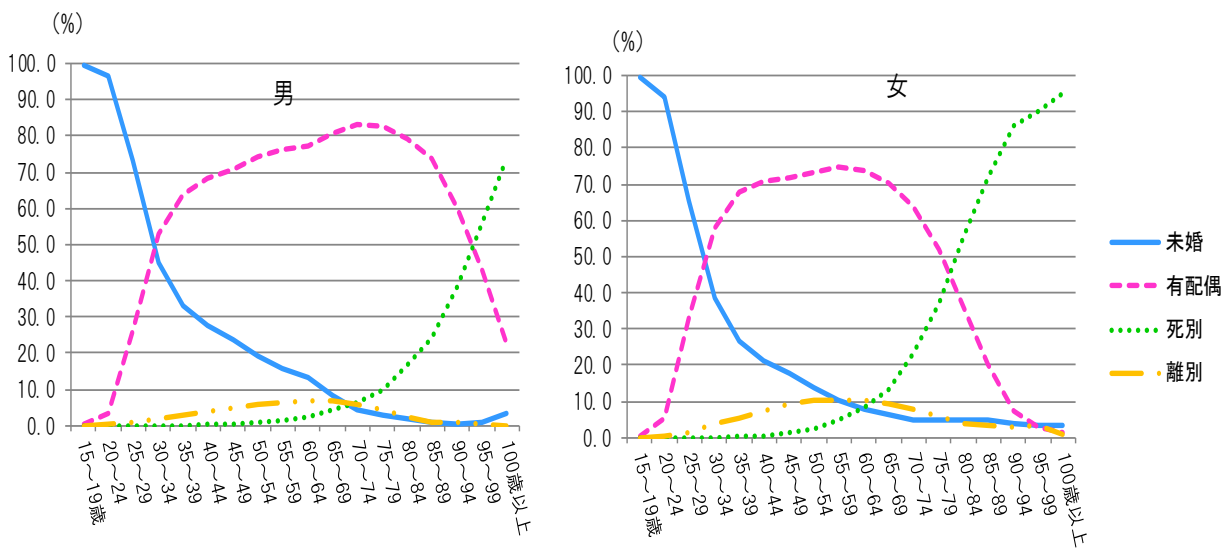
また、「有配偶」の割合が「未婚」を上回るのは男女とも 30～34 歳以上の年齢階級となっています。（表 4、図 4）

表 4 配偶関係別 15 歳以上人口

年齢階級	男						女					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
総数	436,983	144,538	251,696	11,537	16,139	13,073	472,250	130,195	249,452	53,730	28,670	10,203
15～19歳	28,332	27,697	100	2	6	527	26,796	26,365	107	1	13	310
20～24	33,762	30,397	1,053	4	49	2,259	32,365	28,927	1,676	6	110	1,646
25～29	31,643	21,167	7,575	6	202	2,693	32,004	19,893	10,024	16	469	1,602
30～34	32,051	14,047	16,534	18	556	896	34,208	12,979	19,498	44	1,222	465
35～39	36,185	11,702	22,586	37	1,003	857	37,190	9,797	24,953	104	1,978	358
40～44	41,171	11,169	27,695	71	1,640	596	41,473	8,744	29,081	229	3,103	316
45～49	36,205	8,492	25,290	152	1,782	489	35,723	6,332	25,487	458	3,227	219
50～54	32,899	6,228	23,946	255	1,890	580	32,652	4,386	23,793	807	3,411	255
55～59	30,551	4,763	22,764	411	1,940	673	31,694	3,238	23,231	1,478	3,204	543
60～64	32,750	4,156	24,660	801	2,227	906	35,219	2,686	25,427	2,865	3,481	760
65～69	33,652	2,763	26,547	1,356	2,165	821	36,885	2,365	25,595	4,911	3,437	577
70～74	25,002	1,074	20,389	1,564	1,439	536	28,521	1,428	17,908	6,486	2,164	535
75～79	19,048	543	15,305	1,842	803	555	24,590	1,191	12,345	8,855	1,334	865
80～84	13,861	245	10,552	2,207	336	521	21,051	942	7,215	11,084	817	993
85～89	7,175	78	5,214	1,700	77	106	13,436	625	2,616	9,335	456	404
90～94	2,202	11	1,291	832	22	46	6,492	233	443	5,361	190	265
95～99	437	4	182	237	2	12	1,677	56	50	1,447	52	72
100歳以上	57	2	13	42	-	-	274	8	3	243	2	18
						構成比 (%)						
総数	100.0	34.1	59.4	2.7	3.8	-	100.0	28.2	54.0	11.6	6.2	-
15～19歳	100.0	99.6	0.4	0.0	0.0	-	100.0	99.5	0.4	0.0	0.0	-
20～24	100.0	96.5	3.3	0.0	0.2	-	100.0	94.2	5.5	0.0	0.4	-
25～29	100.0	73.1	26.2	0.0	0.7	-	100.0	65.4	33.0	0.1	1.5	-
30～34	100.0	45.1	53.1	0.1	1.8	-	100.0	38.5	57.8	0.1	3.6	-
35～39	100.0	33.1	63.9	0.1	2.8	-	100.0	26.6	67.7	0.3	5.4	-
40～44	100.0	27.5	68.3	0.2	4.0	-	100.0	21.2	70.7	0.6	7.5	-
45～49	100.0	23.8	70.8	0.4	5.0	-	100.0	17.8	71.8	1.3	9.1	-
50～54	100.0	19.3	74.1	0.8	5.8	-	100.0	13.5	73.4	2.5	10.5	-
55～59	100.0	15.9	76.2	1.4	6.5	-	100.0	10.4	74.6	4.7	10.3	-
60～64	100.0	13.1	77.4	2.5	7.0	-	100.0	7.8	73.8	8.3	10.1	-
65～69	100.0	8.4	80.9	4.1	6.6	-	100.0	6.5	70.5	13.5	9.5	-
70～74	100.0	4.4	83.3	6.4	5.9	-	100.0	5.1	64.0	23.2	7.7	-
75～79	100.0	2.9	82.8	10.0	4.3	-	100.0	5.0	52.0	37.3	5.6	-
80～84	100.0	1.8	79.1	16.5	2.5	-	100.0	4.7	36.0	55.3	4.1	-
85～89	100.0	1.1	73.8	24.0	1.1	-	100.0	4.8	20.1	71.6	3.5	-
90～94	100.0	0.5	59.9	38.6	1.0	-	100.0	3.7	7.1	86.1	3.1	-
95～99	100.0	0.9	42.8	55.8	0.5	-	100.0	3.5	3.1	90.2	3.2	-
100歳以上	100.0	3.5	22.8	73.7	0.0	-	100.0	3.1	1.2	94.9	0.8	-
平成22年構成比 (%)												
総数	100.0	33.2	61.2	2.3	3.3	-	100.0	28.1	55.4	10.7	5.7	-

*構成比は配偶関係「不詳」を除いて算出している。

図 4 配偶関係, 年齢 (5 歳階級), 男女別 15 歳以上人口の割合



20歳～49歳までの年齢階級別に未婚率の推移をみると、男女とも全ての年齢階級において、前回は上回っています。(表5, 図5)

図5 年齢階級(20～49歳)別未婚率の推移—平成7年～平成27年

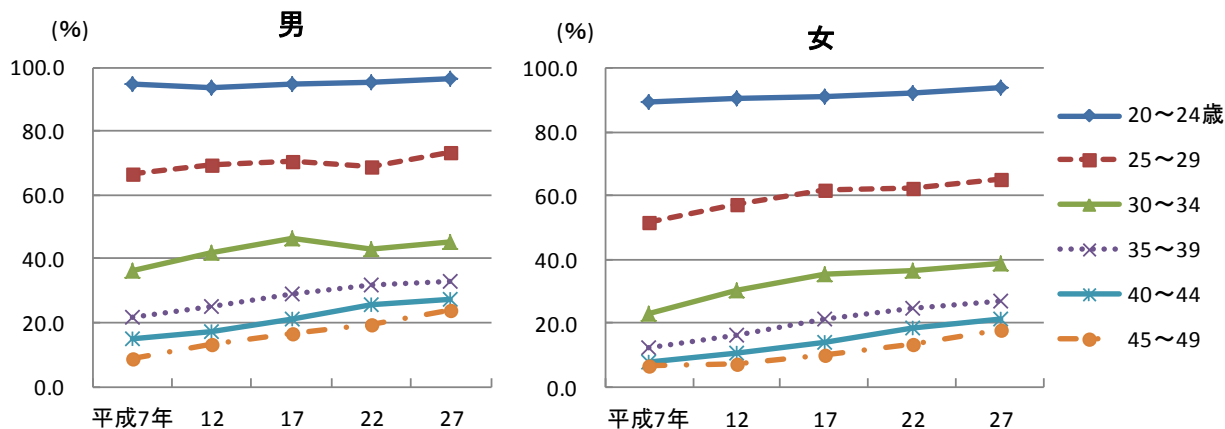


表5 年齢階級(20～49歳)別未婚率の推移—平成7年～平成27年

(単位: %)

年齢階級	男					女				
	平成7年	12年	17年	22年	27年	平成7年	12年	17年	22年	27年
20～24歳	94.6	93.8	94.7	95.2	96.5	89.6	90.4	91.3	92.1	94.2
25～29	66.5	69.2	70.4	68.7	73.1	51.7	57.0	61.9	62.3	65.4
30～34	36.3	42.0	46.2	42.7	45.1	22.7	30.0	35.4	36.5	38.5
35～39	21.5	25.0	29.1	31.8	33.1	12.4	16.2	21.0	24.5	26.6
40～44	14.8	17.3	20.9	25.4	27.5	8.0	10.7	13.8	18.6	21.2
45～49	8.8	13.2	16.3	19.6	23.8	6.6	7.4	10.0	13.6	17.8

4 外国人人口

- 外国人人口は 8898 人で、仙台市の総人口の 0.8%
- 国籍では、「中国」が最も多く、外国人人口の 34.8%を占める

仙台市に在住する外国人人口は 8898 人で、平成 22 年と比べて 20.9%増加しました。また、仙台市の総人口に占める割合は 0.8%となっています。

国籍別にみると、「中国」が最も多く 3100 人（外国人人口の 34.8%）、次いで「韓国、朝鮮」が 1830 人（同 20.6%）などとなっています。「ベトナム」は前回の 69 人から 712 人と大幅に増加しています。外国人人口に占める割合を平成 22 年と比較すると、「中国」が 6.9 ポイント低下、「韓国、朝鮮」が 8.8 ポイント低下、「イギリス」が 0.2 ポイント低下、それ以外の国籍では上昇しています。（表 6、図 6）

図 6 国籍別外国人人口の割合—平成 27 年

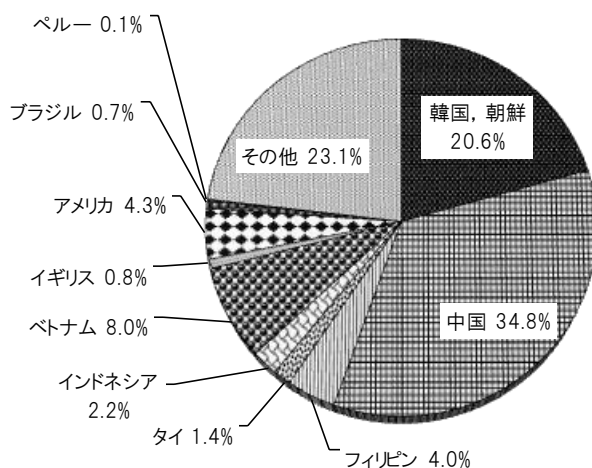


表 6 国籍別外国人人口の推移—平成 22 年～平成 27 年

国籍	実数(人)		増減数 (人)	増減率 (%)	割合(%)	
	平成22年	平成27年			平成22年	平成27年
総数	7,360 (0.7%)	8,898 (0.8%)	1,538	20.9	100.0	100.0
（ ）内の数値は、総人口に占める外国人人口の割合						
韓国, 朝鮮	2,162	1,830	△ 332	△ 15.4	29.4	20.6
中国	3,071	3,100	29	0.9	41.7	34.8
フィリピン	266	354	88	33.1	3.6	4.0
タイ	72	129	57	79.2	1.0	1.4
インドネシア	110	192	82	74.5	1.5	2.2
ベトナム	69	712	643	931.9	0.9	8.0
イギリス	70	72	2	2.9	1.0	0.8
アメリカ	291	382	91	31.3	4.0	4.3
ブラジル	43	61	18	41.9	0.6	0.7
ペルー	4	10	6	150.0	0.1	0.1
その他	1,202	2,056	854	71.0	16.3	23.1

* 国籍 [その他]には、無国籍及び国名「不詳」を含む。

5 世帯の状況

(1)世帯数, 世帯規模

- ▶ 世帯数は49万8953世帯, うち一般世帯は49万8257世帯
- ▶ 一般世帯は, 世帯数・世帯人員は一貫して増加, 1世帯当たり人員は一貫して減少
- ▶ 世帯人員が1人の世帯が最も多く, 世帯人員が多くなるほど世帯数は少ない

平成27年10月1日現在の仙台市の世帯数は49万8953世帯で, 平成22年の46万5260世帯に比べ3万3693世帯の増となり, 増加率は7.2%となっています。

一般世帯数は49万8257世帯, 一般世帯人員は106万769人で, 一般世帯の1世帯当たり人員は2.13人となっています。

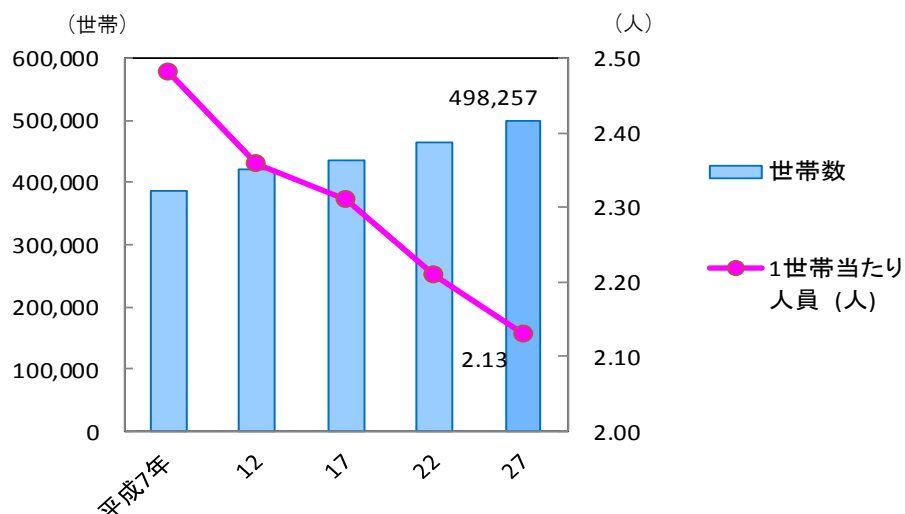
一般世帯について平成7年以降の推移をみると, 世帯数及び世帯人員とも一貫して増加している一方, 1世帯当たり人員は一貫して減少しています。(表7, 図7)

表7 総世帯数, 一般世帯数・世帯人員及び施設等の世帯数・世帯人員の推移—平成7年～平成27年

年次	総数 (世帯)	一般世帯			施設等の世帯		
		世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	1世帯当たり 人員(人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	
実数	平成7年	387,292	385,659	954,776	2.48	412	15,195
	12	421,182	420,368	991,664	2.36	446	15,964
	17	439,579	434,539	1,002,678	2.31	567	17,482
	22	465,260	464,640	1,026,693	2.21	620	19,293
	27	498,953	498,257	1,060,769	2.13	696	21,390
増減数	平成7～12年	33,890	34,709	36,888	△0.12	34	769
	12～17年	18,397	14,171	11,014	△0.05	121	1,518
	17～22年	25,681	30,101	24,015	△0.10	53	1,811
	22～27年	33,693	33,617	34,076	△0.08	76	2,097
増減率	平成7～12年	8.8%	9.0%	3.9%	△4.9%	8.3%	5.1%
	12～17年	4.4%	3.4%	1.1%	△2.1%	27.1%	9.5%
	17～22年	5.8%	6.9%	2.4%	△4.3%	9.3%	10.4%
	22～27年	7.2%	7.2%	3.3%	△3.7%	12.3%	10.9%

*平成7年～17年は, 総数に世帯の種類「不詳」を含む。

図7 一般世帯及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移—平成7年～平成27年



一般世帯数を世帯人員別にみると、世帯人員が1人の世帯が21万5236世帯（一般世帯の43.2%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっています。

平成22年と比べると、世帯人員が3人以下の世帯はいずれも増加しており、世帯人員が多くなるほど増加率は低くなっています。一方、4人以上の世帯はいずれも減少し、世帯人員が多くなるほど減少率は高くなっています。（図8、表8）

図8 世帯人員別一般世帯割合の推移—平成17年～平成27年

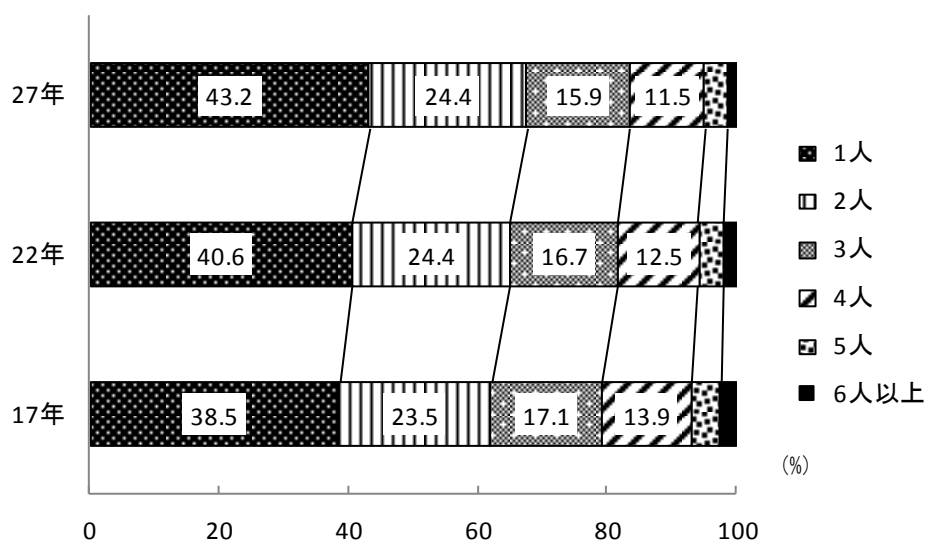


表8 世帯人員別一般世帯数の推移—平成17年～平成27年

区分	一般世帯数 (実数：世帯, 比率：%)						増減数 (世帯)		増減率 (%)
	17年		22年		27年		17～22年	22～27年	22～27年
	実数	比率	実数	比率	実数	比率			
総数	434,539	100.0	464,640	100.0	498,257	100.0	30,101	33,617	7.2
1人	167,269	38.5	188,567	40.6	215,236	43.2	21,298	26,669	14.1
2人	102,305	23.5	113,546	24.4	121,567	24.4	11,241	8,021	7.1
3人	74,290	17.1	77,807	16.7	79,097	15.9	3,517	1,290	1.7
4人	60,437	13.9	58,163	12.5	57,354	11.5	△ 2,274	△ 809	△ 1.4
5人	19,643	4.5	17,877	3.8	17,341	3.5	△ 1,766	△ 536	△ 3.0
6人以上	10,595	2.4	8,680	1.9	7,662	1.5	△ 1,915	△ 1,018	△ 11.7

(2)世帯の種類・家族類型(一般世帯)

- ▶ 単独世帯は 21 万 5236 世帯で、割合は 43.2%とさらに上昇
- ▶ 年齢(5歳階級)別人口に占める単独世帯の割合は、20～24歳が最も高い
- ▶ 女性の80～84歳での単独世帯割合も高く、約3人に1人が単独世帯

一般世帯数を世帯の家族類型別にみると、「親族のみの世帯」は 27 万 2075 世帯(一般世帯に占める割合 54.6%)、「単独世帯」は 21 万 5236 世帯(同 43.2%)となっています。

「親族のみの世帯」のうち、「核家族世帯」は 24 万 648 世帯(同 48.3%)で、そのうち最も多いのは「夫婦と子供から成る世帯」で 11 万 7964 世帯(同 23.7%)、次いで「夫婦のみの世帯」で 8 万 5289 世帯(同 17.1%)などとなっています。(図 9、表 9)

図 9 一般世帯の家族類型別割合の推移—平成 17 年～平成 27 年

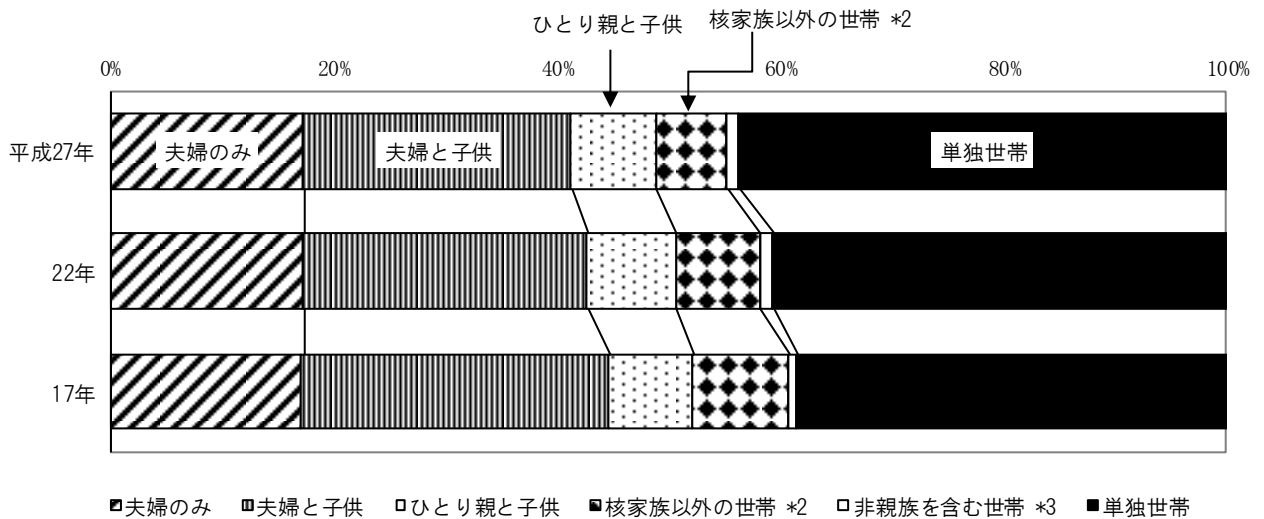


表 9 世帯の家族類型別一般世帯数の推移—平成 17 年～平成 27 年

家族類型	一般世帯数(世帯)			構成比(%)			増減率(%)	
	17年	22年	27年	17年	22年	27年	17～22年	22～27年
総数	434,539	464,640	498,257	100.0	100.0	100.0	6.9	7.2
親族のみの世帯 *1	264,082	270,448	272,075	60.8	58.2	54.6	2.4	0.6
核家族世帯	226,777	236,107	240,648	52.2	50.8	48.3	4.1	1.9
夫婦のみ	74,143	80,082	85,289	17.1	17.2	17.1	8.0	6.5
夫婦と子供	119,764	118,453	117,964	27.6	25.5	23.7	△ 1.1	△ 0.4
男親と子供	4,160	4,573	4,723	1.0	1.0	0.9	9.9	3.3
女親と子供	28,710	32,999	32,672	6.6	7.1	6.6	14.9	△ 1.0
核家族以外の世帯 *2	37,305	34,341	31,427	8.6	7.4	6.3	△ 7.9	△ 8.5
非親族を含む世帯 *3	3,188	5,531	4,948	0.7	1.2	1.0	73.5	△ 10.5
単独世帯	167,269	188,567	215,236	38.5	40.6	43.2	12.7	14.1

* 図 9、表 9 における平成 17 年結果の表記は*1「親族の世帯」*2「その他の世帯」*3「非親族世帯」となる。

*平成 22 年、27 年の総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

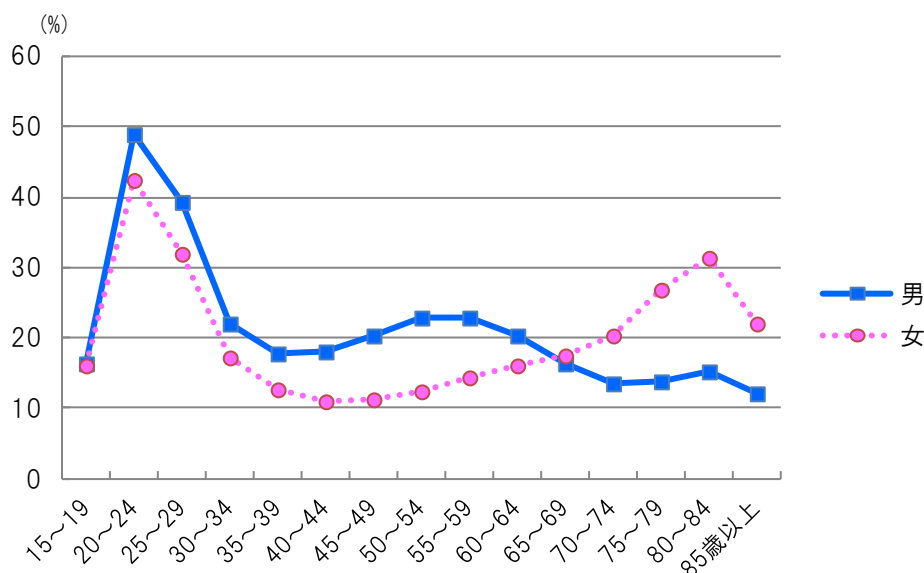
*構成比は世帯の家族類型「不詳」を含めて算出している。

年齢(5歳階級)別人口に占める「単独世帯」の比率をみると、男女とも20～24歳で最も高く、男性で49%、女性で42.4%を占めています。また、15歳以上の年齢階級では、60～64歳までの各年齢階級で男性が女性を上回っている一方、65歳以上の階級では女性が男性を上回っています。(図10、表10)

表10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員—平成22年・平成27年

年齢階級	男				女			
	平成22年		平成27年		平成22年		平成27年	
	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)
総数	99,044	19.5	113,068	21.4	89,523	16.6	102,168	18.4
～14歳	3	0.0	4	0.0	4	0.0	-	-
15～19	5,150	17.9	4,631	16.3	4,501	16.2	4,301	16.1
20～24	16,738	46.3	16,532	49.0	14,139	39.9	13,722	42.4
25～29	11,918	34.8	12,434	39.3	10,548	28.6	10,266	32.1
30～34	8,860	23.4	7,034	21.9	7,311	18.5	5,904	17.3
35～39	8,593	20.2	6,454	17.8	5,776	13.4	4,709	12.7
40～44	7,201	19.5	7,408	18.0	4,254	11.5	4,529	10.9
45～49	6,563	20.1	7,375	20.4	3,456	10.4	3,989	11.2
50～54	6,114	20.1	7,567	23.0	3,429	10.8	4,007	12.3
55～59	5,823	18.0	6,987	22.9	4,107	11.7	4,580	14.5
60～64	4,788	13.9	6,619	20.2	5,009	13.5	5,647	16.0
65～69	3,007	11.3	5,478	16.3	4,623	15.9	6,400	17.4
70～74	2,007	9.6	3,381	13.5	4,883	19.6	5,824	20.4
75～79	1,453	8.8	2,626	13.8	5,204	23.5	6,586	26.8
80～84	1,008	9.1	2,112	15.2	4,407	26.2	6,612	31.4
85歳以上	763	11.0	1,192	12.1	3,112	18.8	4,824	22.0

図10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員の割合—平成27年



* 総数には、年齢「不詳」を含む。

* 比率＝男女、年齢5歳階級別一般世帯のうちの単独世帯人員／当該年齢階級の男女別人口

(3)高齢世帯員のいる世帯(一般世帯)

- 65歳以上世帯員のいる一般世帯数は、一般世帯の3割以上を占める
- 65歳以上の単独世帯、夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯の増加が続く

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は15万5063世帯で、平成22年に比べて2万7982世帯の増加となっています。一般世帯に占める割合は平成27年には31.1%となり、上昇が続いています。

65歳以上世帯員のいる一般世帯数を家族類型別にみると、「単独世帯」が4万5035世帯(65歳以上世帯員のいる一般世帯の29%)と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が4万5016世帯(同29%)などとなっています。(表11、図11)

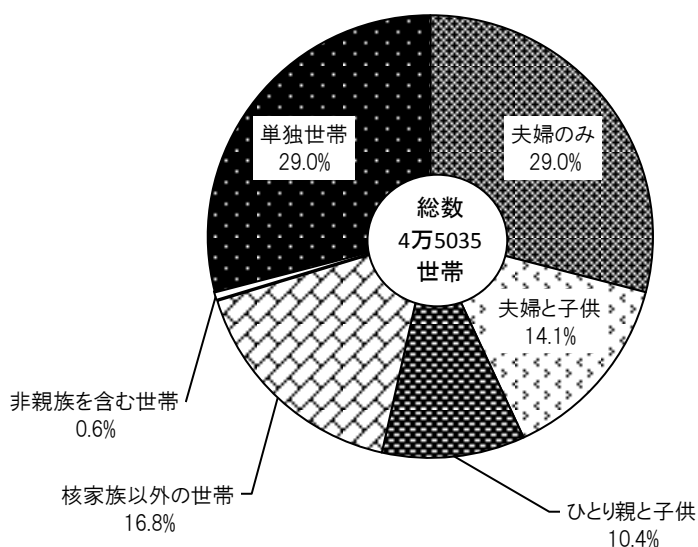
表11 世帯の家族類型別65歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移
—平成17年～平成27年

家族類型	実数(世帯)			構成比(%)		
	17年	22年	27年	17年	22年	27年
65歳以上世帯員のいる一般世帯	109,123	127,081	155,063	100.0 (25.1)	100.0 (27.4)	100.0 (31.1)
親族のみの世帯 *1	84,711	95,849	109,043	77.6	75.4	70.3
核家族世帯	55,984	68,690	82,981	51.3	54.1	53.5
夫婦のみの世帯	31,775	37,780	45,016	29.1	29.7	29.0
夫婦と子供から成る世帯	14,203	17,874	21,802	13.0	14.1	14.1
男親と子供から成る世帯	1,505	2,129	2,659	1.4	1.7	1.7
女親と子供から成る世帯	8,501	10,907	13,504	7.8	8.6	8.7
核家族以外の世帯 *2	28,727	27,159	26,062	26.3	21.4	16.8
非親族を含む世帯 *3	169	765	985	0.2	0.6	0.6
単独世帯	24,243	30,467	45,035	22.2	24.0	29.0

*()内の数値は、一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合

*平成17年結果の表記は*1「親族の世帯」*2「その他の世帯」*3「非親族世帯」となる。

図11 65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別割合—平成27年



65歳以上の単独世帯は平成22年と比べて47.8%増加しています。年齢（5歳階級）別にみると、65歳以上の全ての年齢階級で男女とも増加しており、特に男性の80~84歳以上の年齢階級では2倍以上になっています。（図12、表12）

また、夫と妻がともに65歳以上の高齢夫婦世帯は3万6053世帯で、平成22年に比べ6764世帯（23.1%）の増加となっています。（表13）

図12 年齢別高齢単身者数の推移—平成17年～平成27年

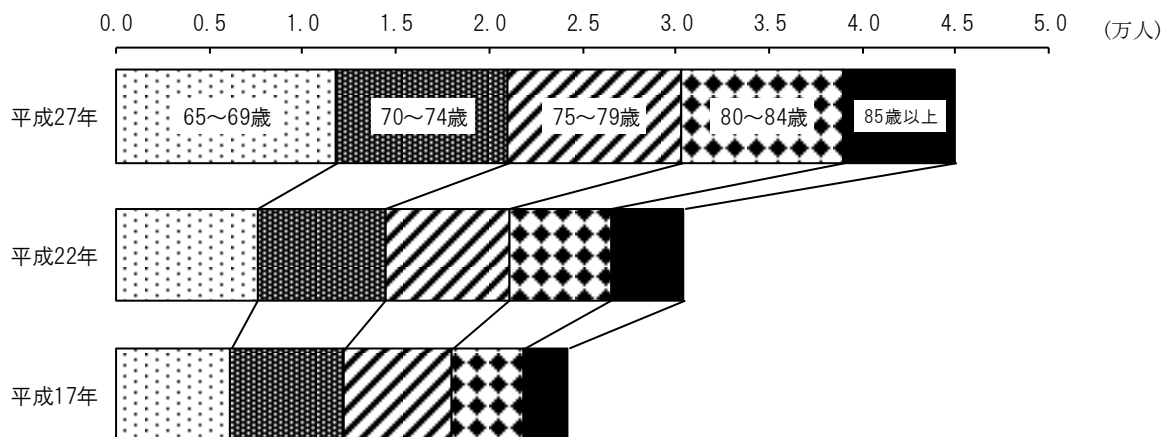


表12 65歳以上の高齢単身者数（男女別）—平成22年・平成27年

（単位：人，%）

年齢別	平成22年			平成27年			増減率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	30,467	8,238	22,229	45,035	14,789	30,246	47.8	79.5	36.1
65～69歳	7,630	3,007	4,623	11,878	5,478	6,400	55.7	82.2	38.4
70～74歳	6,890	2,007	4,883	9,205	3,381	5,824	33.6	68.5	19.3
75～79歳	6,657	1,453	5,204	9,212	2,626	6,586	38.4	80.7	26.6
80～84歳	5,415	1,008	4,407	8,724	2,112	6,612	61.1	109.5	50.0
85歳以上	3,875	763	3,112	6,016	1,192	4,824	55.3	56.2	55.0

表13 夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯数—平成22年・平成27年

（単位：世帯，%）

妻の年齢 夫の年齢		平成22年			平成27年			増減率		
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	65～74歳	75～84歳	85歳以上	65～74歳	75～84歳	85歳以上
総数		19,286	9,205	798	23,439	11,213	1,401	21.5	21.8	75.6
65～74歳		13,430	611	5	17,048	656	21	26.9	7.4	320.0
75～84歳		5,778	7,065	128	6,311	8,287	192	9.2	17.3	50.0
85歳以上		78	1,529	665	80	2,270	1,188	2.6	48.5	78.6

6 住居の状況

(1)住宅の所有関係

- ▶ 「持ち家」の割合は 48%，わずかに低下
- ▶ 「民営の借家」の割合は 43.4%に 1.1 ポイント上昇

住宅に住む一般世帯数 49 万 1762 世帯を住宅の所有関係別にみると、「持ち家」は 23 万 5969 世帯（住宅に住む一般世帯の 48%）と最も多く、次いで「民営の借家」が 21 万 3631 世帯（同 43.4%）で、この 2 つで住宅に住む一般世帯の 91.4%を占めています。

平成 22 年と比べると、「持ち家」は 1 万 1202 世帯（5%）の増加となったものの、総数に占める割合は 0.1 ポイント低下しました。一方、「民営の借家」は 1 万 8987 世帯（9.8%）増加し、総数に占める割合も 43.4%と 1.1 ポイント高くなっています。（図 13，表 14）

図 13 住宅に住む一般世帯数の割合〔所有関係別〕－平成 27 年

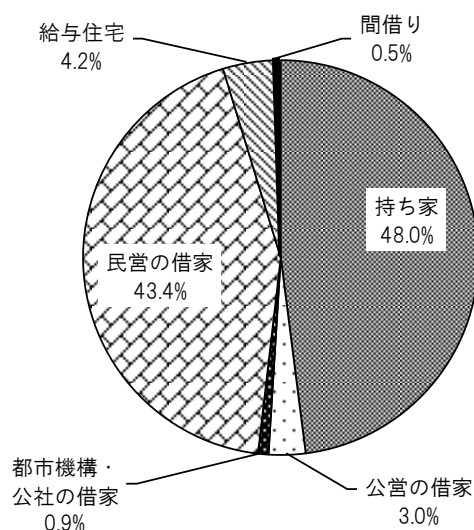


表 14 住宅に住む一般世帯数の推移〔所有関係別〕－平成 17 年～平成 27 年

年 別	総 数	持 ち 家	公 営 の 借 家	都 市 機 構 ・ 公 社 の 借 家	民 営 の 借 家	給 与 住 宅	間 借 り
		実 数 (世帯)					
平成 17 年	428,612	209,626	12,871	4,574	178,180	19,476	3,885
平成 22 年	460,105	224,767	12,288	4,379	194,644	19,480	4,547
平成 27 年	491,762	235,969	14,779	4,182	213,631	20,640	2,561
		構 成 比 (%)					
平成 17 年	100.0	48.9	3.0	1.1	41.6	4.5	0.9
平成 22 年	100.0	48.9	2.7	1.0	42.3	4.2	1.0
平成 27 年	100.0	48.0	3.0	0.9	43.4	4.2	0.5

(2)住宅の建て方

- ▶「共同住宅」が最も多く、住宅に住む一般世帯の60%を超える
- ▶「一戸建て」は世帯数は増加したものの、割合は38.6%に低下

住宅に住む一般世帯数を住宅の建て方別にみると、「共同住宅」が29万6533世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の60.3%を占めています。次いで、「一戸建て」は18万9951世帯（同38.6%）、「長屋建」が4572世帯（0.9%）などとなっています。

平成22年と比べて、「共同住宅」は2万8666世帯（10.7%）増加し、総数に占める割合も2.1ポイント上昇しています。一方、「一戸建て」は3222世帯（1.7%）の増加となったものの、総数に占める割合は2ポイント低下しています。（図14、表15）

図14 住宅に住む一般世帯数の割合〔建て方別〕－平成27年

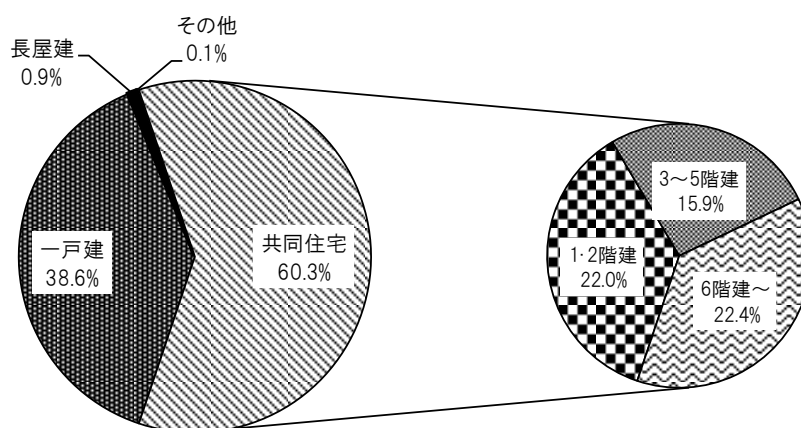


表15 住宅に住む一般世帯数の推移〔所有関係別〕－平成17年～平成27年

年 別	総 数	一 戸 建	長 屋 建	共 同 住 宅				そ の 他
				総 数	1・2階建	3～5	6階建～	
実 数 (世帯)								
平成17年	428,612	180,795	5,641	241,632	94,945	69,891	76,796	544
平成22年	460,105	186,729	4,962	267,867	95,766	72,836	99,265	537
平成27年	491,762	189,951	4,572	296,533	107,956	78,278	110,299	706
構 成 比 (%)								
平成17年	100.0	42.2	1.3	56.4	22.2	16.3	17.9	0.1
平成22年	100.0	40.6	1.1	58.2	20.8	15.8	21.6	0.1
平成27年	100.0	38.6	0.9	60.3	22.0	15.9	22.4	0.1

*平成22年の総数には、住宅の建て方「不詳」を含む。

*平成22年の構成比は、住宅の建て方「不詳」を含めて算出している。

7 区別の状況

- ▶ 人口・世帯数とも増加率が最も高いのは青葉区
- ▶ 年少人口の割合が高いのは宮城野区，老年人口の割合が高いのは泉区
- ▶ 未婚率は男女とも青葉区が最も高く，有配偶率は男女とも泉区が最も高い
- ▶ 単身世帯，高齢者単身者数の割合は青葉区が最も高い
- ▶ 持ち家，一戸建ての割合が高いのは泉区，借家，共同住宅の割合が高いのは宮城野区

主要指標を区別にみてみます。

(1) 人口及び世帯数

人口は青葉区が 31 万 183 人で最も多く，次いで太白区 22 万 6855 人，泉区 21 万 6798 人，宮城野区 19 万 4825 人，若林区 13 万 3498 人の順となっています。平成 22 年と比べると，全ての区で人口は増加しており，増加率の高い順に青葉区 6.4%，太白区 2.8%，泉区 2.7%，宮城野区 2.3%，若林区 0.9%となっています。人口の多い区ほど，人口増加率は高くなっています。

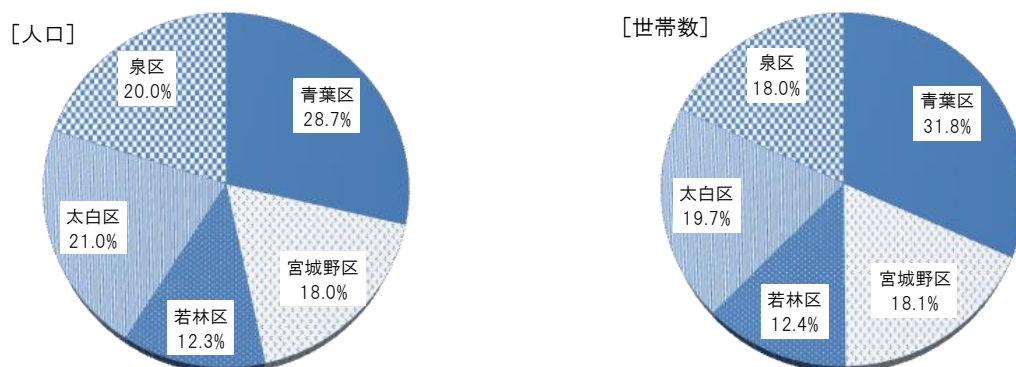
世帯数は青葉区が 15 万 8562 世帯で最も多く，次いで太白区 9 万 8456 世帯，宮城野区 9 万 166 世帯，泉区 8 万 9806 世帯，若林区 6 万 1963 世帯の順となっています。平成 22 年と比べると，世帯数も全ての区で増加しており，増加率の高い順に青葉区 10%，太白区 7.6%，泉区 5.9%，若林区 5.2%，宮城野区 4.9%となっています。

人口密度をみると，最も高いのは宮城野区で 3348.1 人/km²，最も低いのは太白区で 993.3 人/km²となっています。人口集中地区の人口密度では，青葉区が 7643.8 人/km²で最も高く，最も低いのは宮城野区で 5491.5 人/km²となっています。(表 16，図 15)

表 16 区別人口及び世帯数—平成 22 年・平成 27 年

区 別	人 口			世 帯 数	平 成 22 年 ～ 27 年				面 積	人口密度
	総 数	男	女		人 口		世 帯 数			
					増 加 数	増 加 率	増 加 数	増 加 率		
	人	人	人	世帯	人	%	世帯	%	km ²	人/km ²
全 市	1,082,159	527,170	554,989	498,953	36,173	3.5	33,693	7.2	786.30	1,376.3
青 葉 区	310,183	150,535	159,648	158,562	18,747	6.4	14,437	10.0	302.24	1,026.3
宮 城 野 区	194,825	95,651	99,174	90,166	4,352	2.3	4,241	4.9	58.19	3,348.1
若 林 区	133,498	66,926	66,572	61,963	1,192	0.9	3,049	5.2	50.86	2,624.8
太 白 区	226,855	109,310	117,545	98,456	6,267	2.8	6,930	7.6	228.39	993.3
泉 区	216,798	104,748	112,050	89,806	5,615	2.7	5,036	5.9	146.61	1,478.7
(人口集中地区)										
全 市	1,001,882	488,579	513,303	470,854	70,205	7.5	43,968	10.3	149.10	6,719.5
青 葉 区	282,363	137,176	145,187	148,728	24,446	9.5	15,931	12.0	36.94	7,643.8
宮 城 野 区	185,503	90,988	94,515	86,896	11,835	6.8	6,953	8.7	33.78	5,491.5
若 林 区	127,601	64,128	63,473	60,124	4,245	3.4	3,710	6.6	18.58	6,867.7
太 白 区	213,062	102,767	110,295	93,455	8,050	3.9	7,393	8.6	30.03	7,095.0
泉 区	193,353	93,520	99,833	81,651	21,629	12.6	9,981	13.9	29.77	6,494.9

図 15 区別人口及び世帯数の構成比—平成 27 年



(2) 年齢別人口

年齢(3区分)別人口の割合を区別にみると、15歳未満の年少人口の割合は宮城野区が13.3%で最も高く、次いで太白区13.1%、泉区12.9%、若林区12.2%と続き、青葉区が11.3%と最も低くなっています。

一方、65歳以上の老年人口の割合が最も高いのは泉区で23.8%、次いで太白区23.7%、若林区22.3%、青葉区21.9%と続き、宮城野区が21.1%で最も低くなっています。

また、15～64歳の生産年齢人口の割合は青葉区が66.8%で最も高く、次いで宮城野区65.7%、若林区65.5%、泉区63.3%と続き、太白区が63.2%で最も低くなっています。

次に、各区の平均年齢をみると、泉区が45歳で最も高く、以下、太白区44.8歳、若林区44.5歳、青葉区43.9歳と続き、宮城野区が43.4歳で最も低くなっています。(表17、図16)

表 17 区別、年齢(3区分)別人口—平成 27 年

区	実 数 (人)					割 合 (%)			平均年齢 (歳)
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	年齢不詳	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
青 葉 区	310,183	34,108	201,756	66,000	8,319	11.3	66.8	21.9	43.9
宮 城 野 区	194,825	24,068	119,324	38,249	13,184	13.3	65.7	21.1	43.4
若 林 区	133,498	15,378	82,670	28,215	7,235	12.2	65.5	22.3	44.5
太 白 区	226,855	28,991	140,306	52,659	4,899	13.1	63.2	23.7	44.8
泉 区	216,798	26,764	130,817	49,237	9,980	12.9	63.3	23.8	45.0

* 年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

図 16 区別、年齢(3区分)別人口割合—平成 27 年

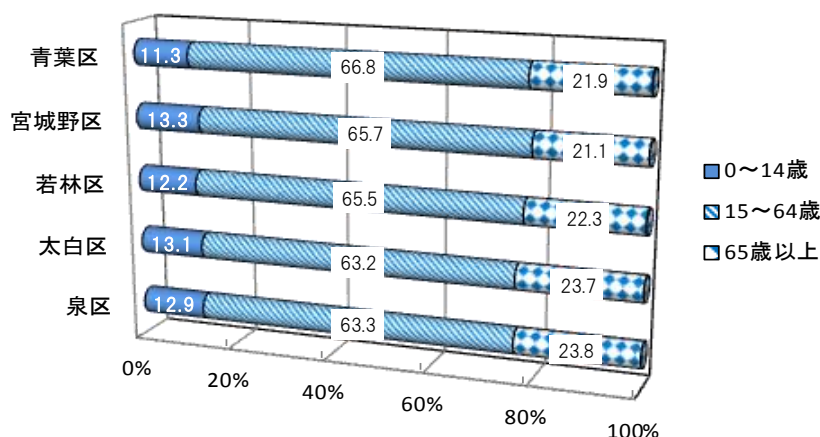
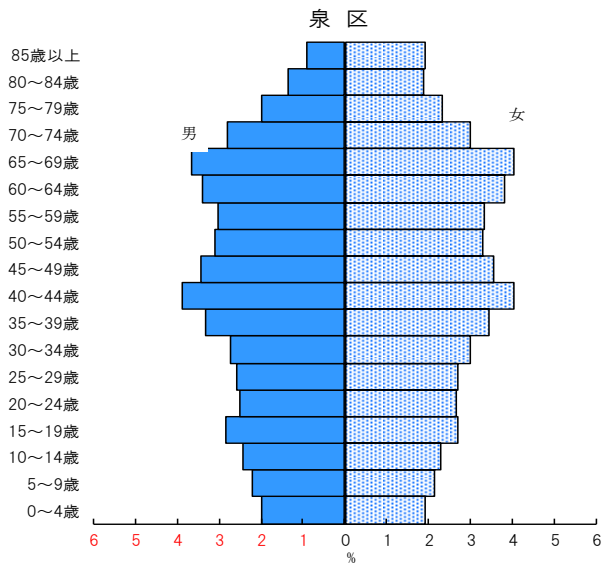
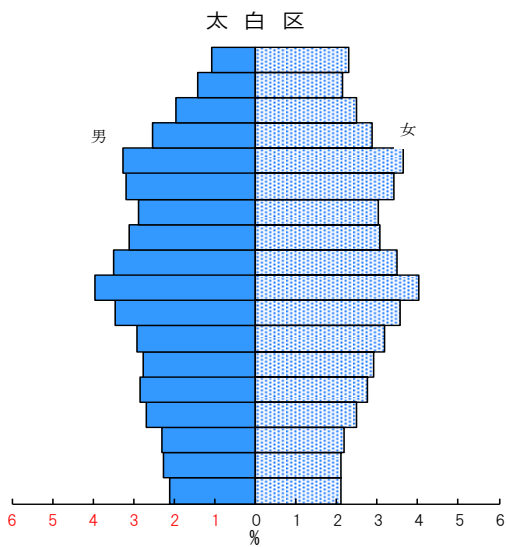
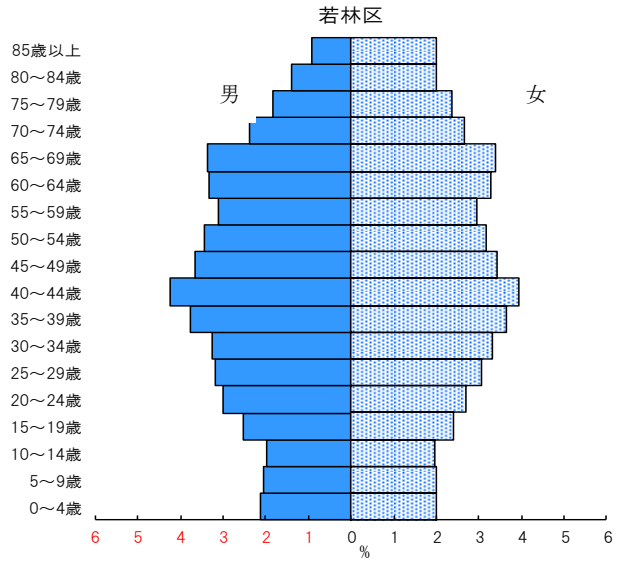
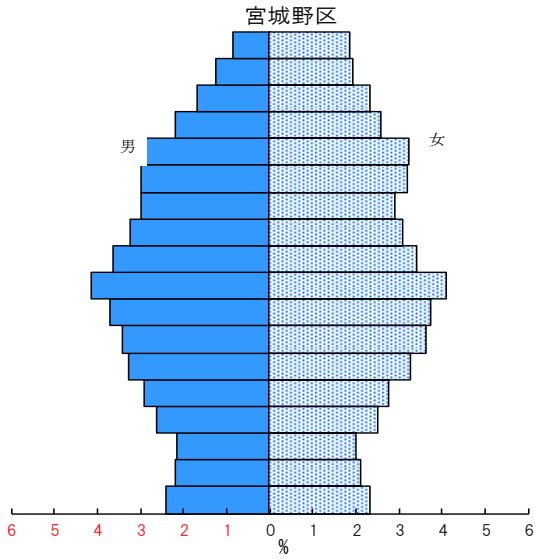
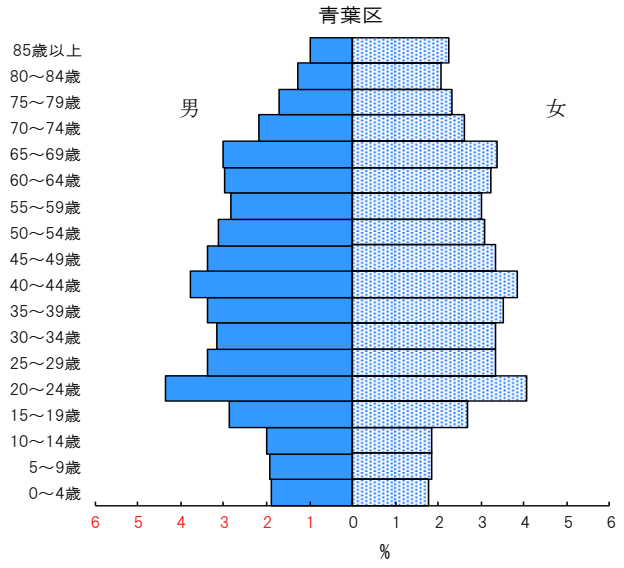
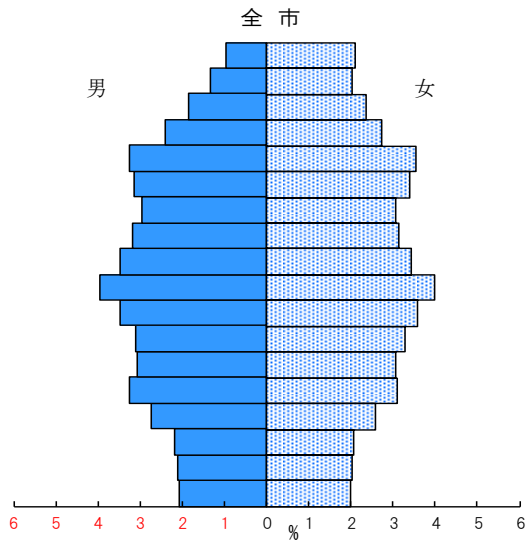


図 17 区別人口ピラミッドー平成 27 年



(3) 配偶関係別人口

各区の配偶関係別割合をみると、未婚率は男女とも青葉区が最も高く、男性は38.6%、女性は33.2%となっています。一方、有配偶率は男女とも泉区が最も高く、男性は65%、女性は59.3%となっています。

25～39歳の5歳階級別の未婚率をみても、男女ともに各階級で青葉区が最も高くなっています。最も未婚率が低いのは、男性は各階級で宮城野区、女性は25～29歳、30～34歳では宮城野区、35～39歳では太白区となっています。(表18, 図18-1, 18-2)

表18 区, 男女別15歳以上人口の配偶関係別割合—平成27年

(単位: %)

区	男							女						
	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	別離	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	別離
青葉区	38.6	77.7	50.2	35.5	55.3	2.5	3.6	33.2	70.7	44.5	30.0	49.3	11.4	6.2
宮城野区	33.8	67.5	39.6	30.2	59.0	2.8	4.4	27.5	58.3	33.7	25.5	53.8	11.3	7.5
若林区	34.4	73.1	45.1	34.4	57.8	2.7	5.0	27.9	63.1	37.1	27.6	53.9	11.8	6.4
太白区	32.4	69.4	42.1	32.6	60.9	3.0	3.7	25.6	62.9	35.3	24.3	55.6	12.6	6.2
泉区	29.5	75.5	46.4	32.4	65.0	2.6	2.9	24.6	68.5	38.6	24.6	59.3	11.2	5.0

*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

*配偶関係「不詳」があるため、各項目の合計は100とはならない。

図18-1 区, 男女別15歳以上人口における未婚率及び有配偶率—平成27年

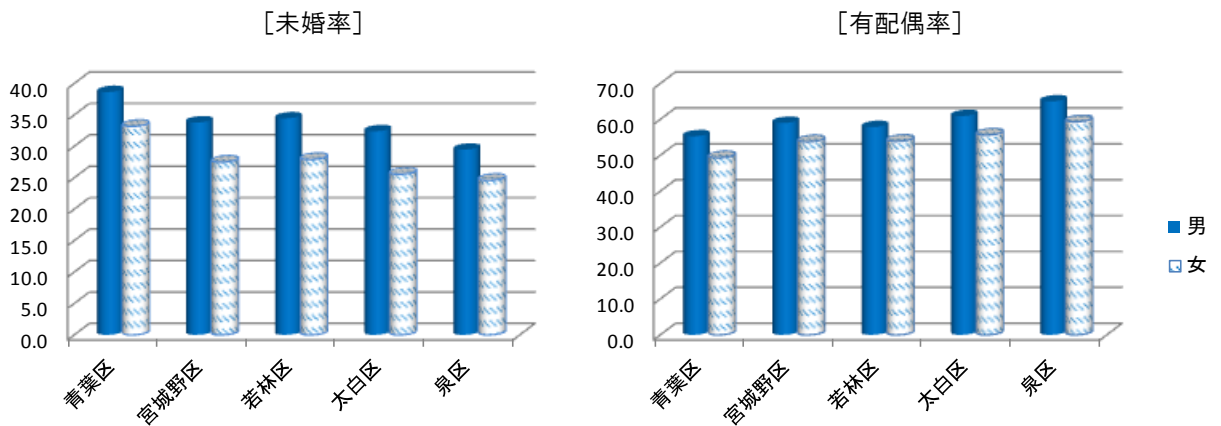
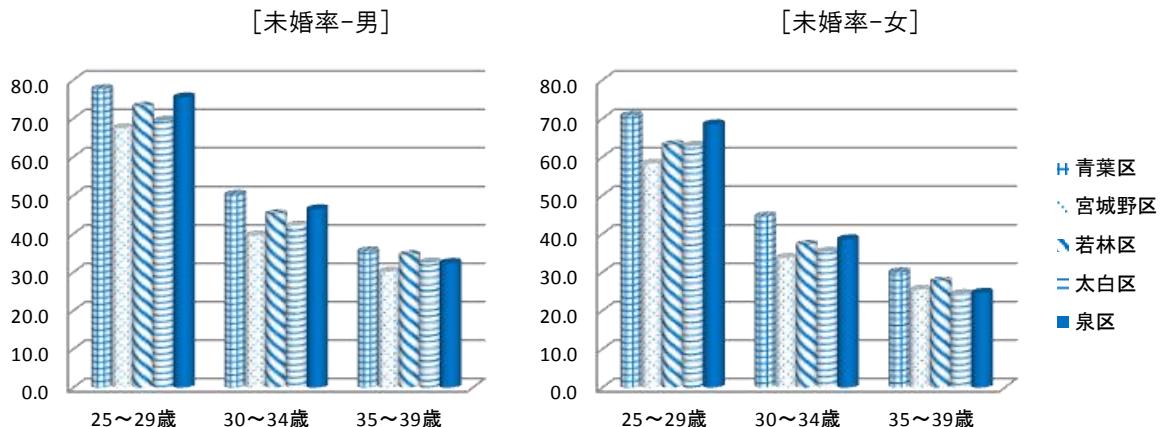


図18-2 区, 男女, 年齢階級(25～39歳5歳階級)別未婚率—平成27年



(4) 世帯・住居に関する主要項目比較

世帯及び住居に関する主要項目を区別に比較してみます。

核家族世帯の割合が最も高いのは泉区で57.8%、最も低いのは青葉区で41.4%となっており、単身世帯の割合では、最も高いのは青葉区で52.4%、最も低いのが泉区で31.7%となっています。

高齢単身者の割合は宮城野区が23.6%で最も高く、泉区が12.6%で最も低くなっています。

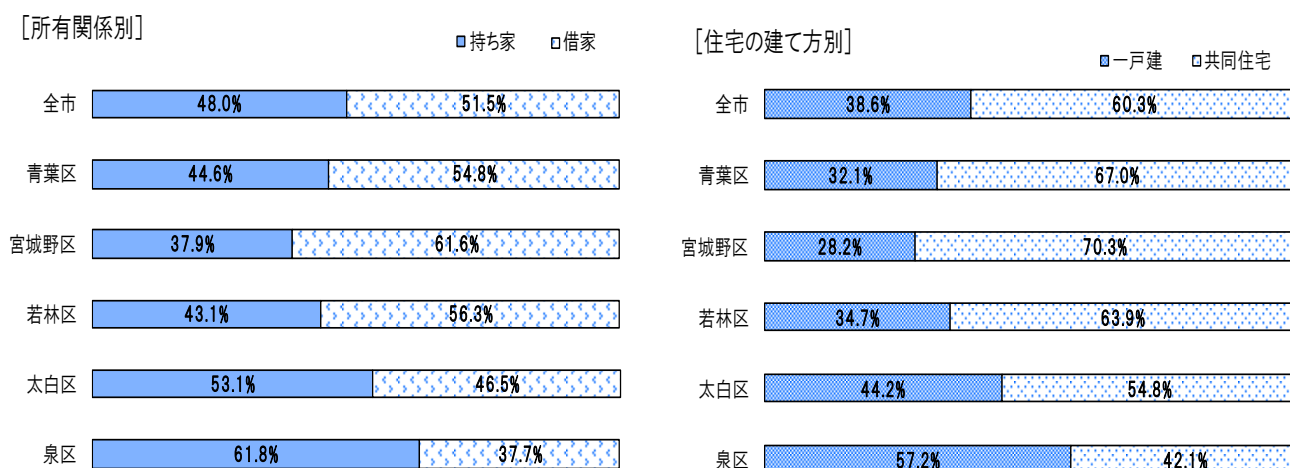
住居の所有の関係では、持ち家居住世帯の割合が最も高いのは泉区で61.8%、最も低いのは宮城野区で37.9%となっています。また、住居の建て方別をみると、一戸建ての割合が最も高いのは泉区で57.2%、最も低いのは宮城野区で28.2%となっています。(表19、図19)

表19 各区の世帯・住居に関する主要項目比較—平成27年

区別	(単位：%)						
	核家族世帯	単身世帯	高齢単身者	持ち家居住世帯	借家居住世帯	一戸建世帯	共同住宅
全市	48.3	43.2	19.2	48.0	51.5	38.6	60.3
青葉区	41.4	52.4	23.1	44.6	54.8	32.1	67.0
宮城野区	46.6	44.0	23.6	37.9	61.6	28.2	70.3
若林区	45.8	44.3	20.5	43.1	56.3	34.7	63.9
太白区	53.9	37.4	16.6	53.1	46.5	44.2	54.8
泉区	57.8	31.7	12.6	61.8	37.7	57.2	42.1

* 核家族世帯・単身世帯は、一般世帯数に対する割合。高齢単身者は65歳以上人口に対する割合。
持ち家居住世帯・借家居住世帯・一戸建世帯・共同住宅世帯割合は、住宅に住む一般世帯数に対する割合。

図19 住宅の状況（所有関係別及び建て方別割合）—平成27年

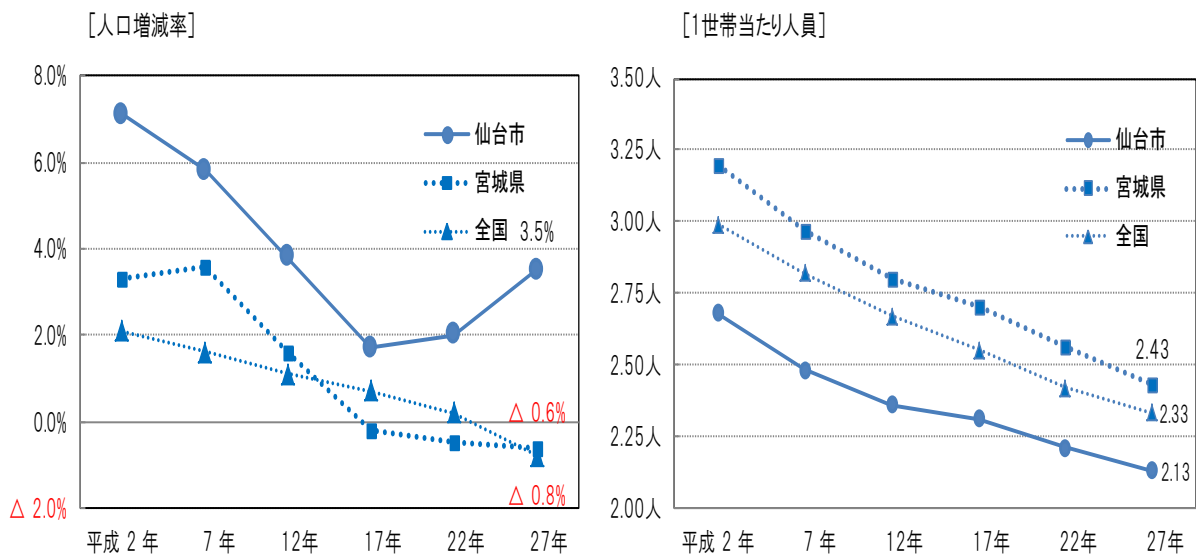


8 主要指標における宮城県及び全国との比較

平成 27 年国勢調査の仙台市の結果を宮城県及び全国と比較すると、次のような特徴がみられます。(図 20, 表 20)

- (1) 人口の対前回増減率をみると、全国は $\Delta 0.8\%$ となり、大正 9 年の調査開始以来初めての人口減少、また、宮城県は $\Delta 0.6\%$ で、平成 17 年の調査以降、人口減少が続いていますが、仙台市の人口増減率は 3.5%となり、引き続き人口増加となっています。
- (2) 世帯数の対前回増減率は、全国の 2.9%、宮城県の 4.8%を上回る 7.2%増となっています。
- (3) 人口の年齢別構成をみると、仙台市は生産年齢人口の割合(65%)が全国(60.7%)及び宮城県(61.7%)より高く、一方、仙台市の年少人口の割合(12.5%)及び老年人口の割合(22.6%)ではいずれも全国及び宮城県のそれぞれを下回っています。また、平均年齢も全国の 46.4 歳、宮城県の 46.2 歳を下回り、仙台市は 44.3 歳となっています。
- (4) 外国人割合は、仙台市は 0.8%で、宮城県の 0.6%を上回っているものの、全国の 1.4%よりは下回っています。
- (5) 未婚率については、仙台市は男女共に全国及び宮城県を上回っています。年齢 5 歳階級別の 20~39 歳をみると、女性は各階級で全国及び宮城県を上回っていますが、男性は 20 歳代では全国及び宮城県を上回っているものの、30 歳代では全国及び宮城県を下回っています。
- (6) 一般世帯における平均世帯人員では、仙台市は 2.13 人となっており、宮城県の 2.43 人、全国の 2.33 人を下回っています。一方、仙台市における単独世帯の割合 43.2%と 65 歳以上人口に占める高齢単身者の割合 19.2%は、どちらも宮城県及び全国のそれを上回っており、単独世帯の割合では、9 ポイント近くの違いとなっています。
- (7) 住宅に住む一般世帯のうち、持ち家を持つ世帯の割合をみると、全国は 62.3%、宮城県は 58.8%で、仙台市はそれらを下回る 48%となっています。
- (8) 住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、全国及び宮城県では「一戸建て」の割合が「共同住宅」の割合を上回っていますが、仙台市では「共同住宅」の割合が 60.3%と、「一戸建て」の割合の 38.6%を上回っています。

図 20 人口増減率の推移及び一般世帯における平均世帯人員の推移
—仙台市, 宮城県, 全国(平成 2 年~平成 27 年)



9 主要指標における他の大都市との比較

全国の21大都市（政令指定都市及び東京都区部）における主要指標を比較して、仙台市の状況を見てみます。（表20）

(1) 総人口をみると、15都市で前回調査より増加しており、対前回増加率が最も高いのは福岡市で5.1%、次いで東京都区部3.7%、川崎市3.5%と続き、仙台市は3.5%で4番目となっています。

(2) 世帯数をみると、全ての都市で前回調査より増加しており、対前回増加率は福岡市が8.1%と最も高く、仙台市が7.2%と続いています。

(3) 人口の年齢別構成をみると、年少人口の割合が最も高いのは広島市で14.2%、最も低いのは東京都区部で11%となっており、仙台市は12.5%で13位です。

また、老年人口の割合は北九州市が29.3%と最も高く、仙台市は22.6%で18位、最も低いのは川崎市で19.5%となっています。

一方、生産年齢人口の割合は、川崎市が67.7%と最も高く、次いで東京都区部67%、福岡市66%、仙台市が65%と続き、最も低いのは北九州市で58.1%となっています。

(4) 総人口に占める外国人の割合は、最も高いのは東京都区部で3.4%、最も低いのは札幌市で0.5%となっています。仙台市は0.8%で18番目となっています。

(5) 未婚率をみると、男性では川崎市が38%と最も高く、堺市が30.5%で最も低くなっています。仙台市は34.1%で9番目となっています。一方、女性では福岡市が31.3%と最も高く、仙台市は28.2%と5番目、最も低いのは浜松市で20.8%となっています。

(6) 一般世帯における平均世帯人員をみると、最も多いのは浜松市で2.53人、仙台市は2.13人で15番目、最も少ないのは東京都区部で1.91人となっています。

また、一般世帯数における単独世帯の割合では、東京都区部が50.6%と最も高く、福岡市が49.7%と続き、仙台市は43.2%で5番目、最も低いのは浜松市で29.7%となっています。

(7) 一般世帯における高齢単身者について、65歳以上人口に占める割合をみると、最も高いのは大阪市で30.1%、次いで東京都区部27%、福岡市25.6%などと続き、仙台市は19.2%で14番目、最も低いのは浜松市で13.1%となっています。

(8) 住宅に住む一般世帯数を所有の関係で見ると、持ち家の割合は新潟市が66%と最も高く、次いで浜松市64.7%、静岡市63.6%などと続き、仙台市は48%で18番目と低く、最も低いのは福岡市で37.5%となっています。

また、建て方別で見ると、共同住宅の割合が最も高いのは福岡市で76.9%、仙台市は60.3%で9番目となっています。なお、21都市中、新潟市、静岡市、浜松市及び岡山市を除く17都市は、共同住宅の割合が一戸建ての割合を上回っています。

また、主要指標の大都市平均の値（割合）を100としたときの、仙台市の指数をグラフで表すと次のようになります。（主要指標のうち、一部のみ）（図21）

図21 主要指標の大都市平均と仙台市の比較（大都市平均=100）

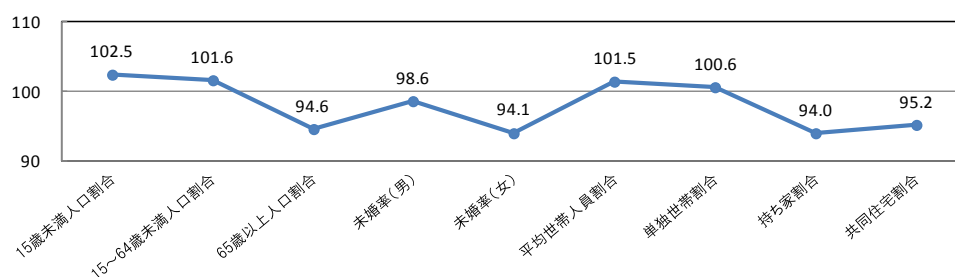


表20 主要指標の比較—21大都市，

主要指標		仙台市	札幌市	さいたま市	千葉市	東京都区部	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市
総人口	(人)	1,082,159	1,952,356	1,263,979	971,882	9,272,740	1,475,213	3,724,844	720,780	810,157	704,989
人口の対前回増減率	(%)	3.5	2.0	3.4	1.1	3.7	3.5	1.0	0.5	△0.2	△1.6
世帯数	(世帯)	498,953	921,837	533,209	417,857	4,801,194	691,837	1,645,618	311,188	321,511	286,013
世帯数の対前回増減率	(%)	7.2	4.1	6.0	2.8	5.7	4.4	3.9	2.8	2.9	2.5
人口の年齢別構成	15歳未満	(%)	12.5	11.4	13.2	12.7	11.0	12.8	12.7	12.4	12.2
	15～64歳	(%)	65.0	63.7	64.0	62.4	67.0	67.7	64.0	63.6	60.8
	65歳以上	(%)	22.6	24.9	22.8	24.9	22.0	19.5	23.4	23.9	27.0
平均年齢	(歳)	44.3	46.2	44.3	45.4	44.5	42.8	44.9	44.8	46.8	47.5
外国人割合	(%)	0.8	0.5	1.1	1.7	3.4	1.7	1.8	1.3	0.5	1.0
未婚率	男	(%)	34.1	32.5	33.6	33.2	37.2	38.0	34.8	35.1	31.7
	女	(%)	28.2	27.5	25.0	24.4	30.8	27.9	25.5	25.3	23.7
20～24歳	男	(%)	96.5	95.8	97.1	95.1	97.1	97.0	96.9	96.1	96.1
	女	(%)	94.2	92.8	94.3	91.6	94.7	94.0	94.0	92.7	93.5
25～29歳	男	(%)	73.1	73.0	75.1	74.3	77.8	76.9	77.2	75.5	72.5
	女	(%)	65.4	66.6	64.3	62.2	68.3	64.9	65.7	63.6	62.6
30～34歳	男	(%)	45.1	48.5	46.1	47.6	50.1	49.5	49.3	50.5	46.2
	女	(%)	38.5	41.9	33.7	35.3	40.2	35.8	35.3	36.0	35.6
35～39歳	男	(%)	33.1	36.4	33.1	37.1	36.8	35.5	36.3	38.3	34.8
	女	(%)	26.6	30.4	21.7	24.2	29.2	23.5	23.7	24.2	24.8
一般	平均世帯人員	(人)	2.13	2.06	2.34	2.29	1.91	2.11	2.24	2.28	2.46
	単独世帯割合	(%)	43.2	40.8	33.5	33.6	50.6	42.7	35.9	35.5	32.4
	65歳以上人口に占める高齢単身者の割合	(%)	19.2	21.6	17.3	18.4	27.0	20.7	19.7	17.1	13.6
世帯	うち住宅に住む	持ち家割合	(%)	48.0	49.0	62.2	61.1	45.1	49.3	60.4	61.0
		一戸建割合	(%)	38.6	35.2	46.7	40.3	25.6	26.6	37.9	47.9
		共同住宅割合	(%)	60.3	63.5	52.1	58.4	73.4	72.2	60.5	50.8

*人口の年齢別構成及び未婚率は、年齢「不詳」を除いて算出

全国，宮城県（平成27年）

浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市	全国	宮城県
797,980	2,295,638	1,475,183	2,691,185	839,310	1,537,272	719,474	1,194,034	961,286	1,538,681	740,822	127,094,745	2,333,899
△ 0.4	1.4	0.1	1.0	△ 0.3	△ 0.4	1.4	1.7	△ 1.6	5.1	0.9	△ 0.8	△ 0.6
309,227	1,058,497	705,874	1,354,793	350,301	705,459	309,409	531,605	426,325	764,820	315,456	53,448,685	944,720
2.9	3.6	3.6	2.8	1.7	3.1	4.3	3.6	1.3	8.1	4.3	2.9	4.8
13.6	12.5	11.3	11.2	13.6	12.2	13.7	14.2	12.6	13.3	14.1	12.6	12.5
60.0	63.3	62.0	63.6	59.5	60.7	61.5	62.1	58.1	66.0	61.7	60.7	61.7
26.4	24.2	26.7	25.3	26.9	27.1	24.7	23.7	29.3	20.7	24.2	26.6	25.7
46.2	45.0	45.9	45.8	45.8	46.6	44.7	44.4	47.5	43.1	44.8	46.4	46.2
2.1	2.4	2.3	3.0	1.3	2.3	1.2	1.2	1.0	1.5	0.5	1.4	0.6
31.1	34.9	36.1	35.6	30.5	31.5	32.0	30.6	30.5	34.7	31.5	31.8	31.9
20.8	26.0	30.0	29.3	23.7	26.1	25.1	24.5	23.4	31.3	26.5	23.2	23.3
94.8	96.3	97.1	93.2	94.3	96.0	95.3	94.4	93.4	96.0	94.4	95.0	95.1
90.2	92.6	95.2	89.3	90.6	93.6	92.2	91.3	89.7	93.7	91.8	91.4	91.5
71.2	74.9	77.7	70.9	69.9	74.3	69.5	68.9	68.1	72.8	69.0	72.7	72.0
56.0	62.3	70.1	63.0	59.4	67.0	61.0	59.4	58.5	68.0	61.6	61.3	61.4
44.0	48.0	51.0	46.3	43.1	46.5	43.8	42.3	44.1	44.8	42.5	47.1	46.5
28.6	34.6	43.3	40.2	33.7	39.7	34.5	32.8	34.9	42.1	35.7	34.6	35.3
33.4	36.0	37.4	35.3	31.7	33.7	31.7	31.4	32.9	32.2	30.8	35.0	34.5
19.2	24.7	31.0	30.3	24.2	27.9	23.2	23.8	25.6	29.8	25.2	23.9	24.0
2.53	2.13	2.05	1.96	2.35	2.14	2.27	2.21	2.19	1.97	2.29	2.33	2.43
29.7	42.2	45.3	48.6	31.7	39.8	37.9	37.9	37.0	49.7	36.7	34.5	34.4
13.1	22.0	22.6	30.1	20.6	24.3	18.1	20.4	22.0	25.6	19.3	17.7	14.5
64.7	48.2	53.7	44.0	60.1	57.6	56.5	53.3	55.4	37.5	51.7	62.3	58.8
63.6	33.6	44.5	25.9	47.2	36.2	55.3	42.4	44.9	22.2	48.0	55.2	56.0
34.1	64.5	52.8	70.8	49.8	61.8	42.5	55.6	52.9	76.9	50.8	42.7	41.3

